

【1月14日北部九州豪雨被害支援活動】報告 L.市来洋介/L.秋吉里美

すでに小学校の土砂除去は完了されていたので、当日は急遽?計画を変更しある農家ご所有の柿畑を3面、堆積した土砂を除去しました。

昨シーズンは収穫どころではなく、せっかく付けた実も放置され朽ち果てていました。

豪雨災害に遭われるも意欲あって何とかしようとしておられる農家もいらっしゃれば、半ば放棄されたようなところも少なくないとのことでした。

具体的には、柿の根元まで埋まっているところをスコップで20~30cm掘り上げ、柿の木が呼吸しやすい環境をつくってやるとのこと。

大量の土砂が入り込んでいる畑の場合は全面掘り取る必要があり、油圧ショベルも使いながら、ほぼスコップと手押し三輪車の人力で豪雨前の状況に戻してやることができました。

昨日は15時過ぎに現地作業が完了し、17:30に市民会館へ帰りつきました。

全体で3カ所の柿畑に堆積した土砂を除去する作業を全員で行いました。



少し奥へ行くとまだまだ、災害の爪痕は、残っています。一昨年の熊本地震も同じですが、大災害から復旧するには、長い時間も掛かります。また人々に残る傷跡は、中々癒えることは、ありません。最終的には、人と人との関わり合いが、拠り所となります。我々Lionsの精神は、「We Serve」です。この心意気が、大きな潤滑油になれば、幸いです。そして、必ず明日と言う日は、いつもやって来るのです。

